


TAJIMA DG16 BY PULSE 16.1.2.7290 の変更点

下記が Tajima DG16 by Pulse の最新バージョンの変更点です。

ユーザーインターフェース（操作環境）

選択セグメントの初期値のプロパティ用ページ

セグメントを選択したとき、ダブルクリックや  で開く[セグメントの設定]ダイアログで最初に表示される初期値のページを変更しました。それぞれの場合に表示される初期値のページが変更され、選択したセグメントのタイプで最もよく使用される設定ページがすぐに表示されるようになりました。

サテンパス、複合サテン、マニュアルステッチ、アップリケ、シークイン、シークインフィルとファーステッチセグメントのセグメント設定ダイアログを開いたとき、この変更がされています。

貼り付けたセグメントを画面に合わせて表示

セグメントをコピーして別のデザインウィンドウへ貼り付けたとき、貼り付けられた場所が画面の表示倍率によって、画面から外れて表示されないことがありました。

貼り付け機能を変更し、"画面に合わせる"ことができます。貼り付けたセグメントは、必ず新しい画面に表示されるようになりました。

ブラシセグメントの新しい先細終端のタイプ

ブラシツールで作成された刺しゅうセグメントに使用できる、新しい設定が追加されました。先細終端のタイプ（つまり、スタート、終了、または両方）を選択すると、[先細終端スタイル]

先細終端スタイル



ル]設定を利用可能になり、終端のスタイルを決定します。

ドロップダウンリストから、"とがった形"(緑色の例)と"丸い形"(金色の例)が選択できます。

縦横繰返しツール—スタート/エンド点設定

デザインのスタート/エンドの位置

- ☒ 刺繍枠のセンターを使用
☐ デザインファイルのスタート設定を使用

縦横繰返しデザインのスタート/エンド位置を制御する新しい設定が、[縦横繰返し]設定ダイアログに追加されました。この設定は、縦横繰返し縫いの設定で、繰り返すデザインのすべてのスタート/エンド点が、刺しゅう枠に対して同じ位置に合わせる

場合に便利です。（たとえば、同じ枠で生地を取り替えて、同じ位置でデザインをいくつも刺しゅうする場合）。※縦横間隔設定はそれぞれ 0.0mm。

[ファイル]—[新規作成]—[新規デザイン]の[縦横繰返し]で開いたダイアログの"デザインのスタート/エンドの位置"で設定できます。

- **刺繍枠のセンターを使用**—最初のデザインのセンターがデザイン全体のスタート/エンド点となる※**一つの枠で同じデザインを縫う場合に使用**
- **デザインファイルのスタート設定を使用**—元のデザインファイルの中で指定されているスタート/エンド点設定が使用される

自動デジタイザーウィザード－絶対サイズ設定

自動デジタイザーウィザードは、対話形式で、既存のイメージファイルから刺繍デザインを生成する機能です。生成されるデザインの幅と高さを指定する、"最終デザインサイズ"設定がウィザードに追加されました。これらの設定は、"イメージ切り取りサイズ"とは別に適用するこ

イメージの変形



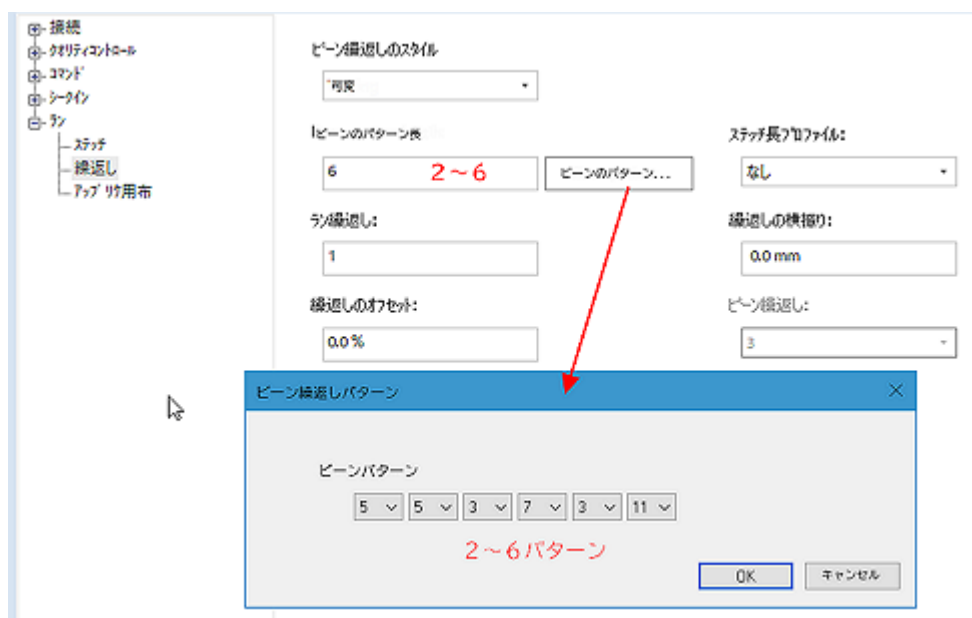
とができます。

可変ビーン繰返し設定

ランステッチの設定に、"可変ビーン繰返し"と呼ばれる機能が追加されました。ビーンステッチの繰返し数が変わるビーンステッチのパターンを作成することができます。この設定をビーンステッチセグメントへ適用すると、パターンのそれぞれのステッチで異なるステッチ数のビーンが生成され、例えば、最初のビーンは3回繰返し、次は7回繰返しというビーンステッチを生成することができます。

設定したパターンをセグメントの終了まで繰返します。可変ビーンのパターン長は、2から6です。

可変ビーン繰返しを使うには、ビーンランセグメントを選択するか"ラン"ツールを選択して、セグメント設定ダイアログを開きます。ラン設定のページで"繰返し"を選択、"ビーンの繰返しのスタイル"で可変を選択、パターン長を入力し、[ビーンのパターン]をクリックし、"ビーン繰



返しパターン"を開きます。

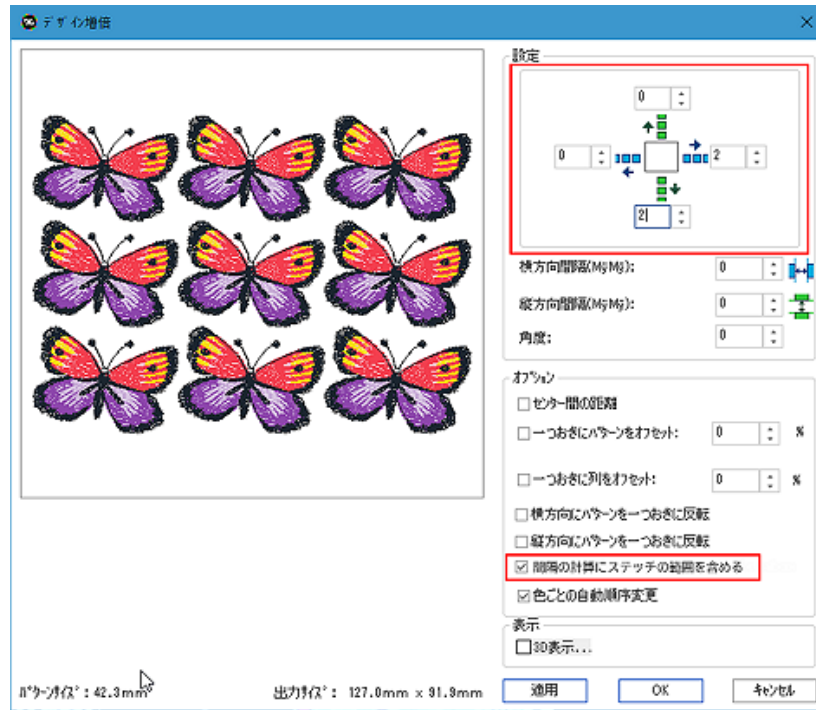
[OK]ボタンをクリックして閉じて、セグメント設定ダイアログで、[適用]か[OK]ボタンをクリックします。

デザイン編集ツール

デザイン増倍－複製の設定に上下左右の数の指定を追加

デザインに繰り返しパターンを作成する場合、追加する複製の数だけでなく、元の選択セグメントに対する複製の配置方法も設定できるようになりました。[デザイン増倍]ダイアログの設定領域に、4つの新しい設定項目が表示されます。各設定項目は、元のセグメントの上、下、左、右方向用にそれぞれ1つあります。各方向に必要な数値を入力し、必要に応じてダイアログの他のオプションを設定し、[OK]をクリックして複製を生成します。

セグメントを選択後、"複製"ツールを選択するか[Ctrl]と[D]キーを押して、続いて、[Ctrl]キーを押しながら画面上をクリックすると、このダイアログを開きます。



デザイン増倍－ステッチ範囲を含む設定

上の図参照

セグメントをコピーしてデザイン増倍機能で複製したとき、複製間の距離は、隣接するセグメントのアウトラインの位置に基づいています。ただし、複製するセグメントにはステッチがあるので、ステッチが重なってしまう可能性があります。

これを防ぐには、「間隔の計算にステッチの範囲を含める」設定をチェックします。選択すると、間隔の計算は、アウトラインではなく、ステッチを含めたサイズに基づいて計算、処理されます。

テキストツールと設定、フォント

複数の文字を同時に編集

選択機能に改良を加え、テキストセグメントの複数の文字を同時に選択し、同時に編集することができるようになりました。この方法で選択すると、選択した複数の文字は、「パワー編集」のボックスで囲まれ、枠の回転、サイズ変更、斜体処理を実行するためのハンドルをクリックドラッグすることができます。



この複数文字選択は、隣り合う連続した文字、あるいは連続しない複数の文字、どちらでも選択することができます。

- 連続した複数の文字を選択するには、選択する連続の最初の文字の文字ビーズをクリックし、**Shift** キーを押しながら連続の最後の文字の文字ビーズをクリックします。
- 連続しない複数の文字を選択するには、選択する最初の文字の文字ビーズをクリックし、**Ctrl** を押しながら後続の文字をクリックします。

注意：選択した複数の文字をベースラインに対して上下に移動する場合は、選択ボックスではなく、選択した文字の文字ビーズをクリックしてドラッグする必要があります。選択ボックスをドラッグすると、テキストセグメント全体が移動するだけです。

レタリングの内側で糸止めステッチ

“内側でスタート糸止め”テキストのプロパティのダイアログに追加された新しい設定です。有効にすると、糸止めステッチがテキストの最初の文字の内側へ少し移動します。それによって、上のステッチが糸止めステッチを隠すことができます。

"セグメント設定"の"テキスト"ページの"接続"、"内側でスタート糸止め"で設定することができます、

テキストベースラインのアンカー点編集の改良

タジマ DG by Pulse の以前のバージョンでは、アンカー点編集ツールは、一行だけのテキストに適用可能でした。この機能は、複数行のテキストセグメントでも機能するように拡張されました。複数行のテキストセグメントを選択すると、"変形"ツールを使用して、テキストの各行のベースラインのアンカー点を選択および調整（移動、結合、分割など）できるようになりました。


"縮めて合わせる"の修正

タジマ DG16 の以前のバージョンでは、"階段状配列"で作成されたテキストに適用したときに、"縮めて合わせる"ツールが問題を引き起こしていました。フォントによっては、"縮めて合わせる"により、テキストの最後の文字がベースラインから大きくズレてしまいました。ズレの原因となった機能の不具合は、最新バージョンで修正されました。

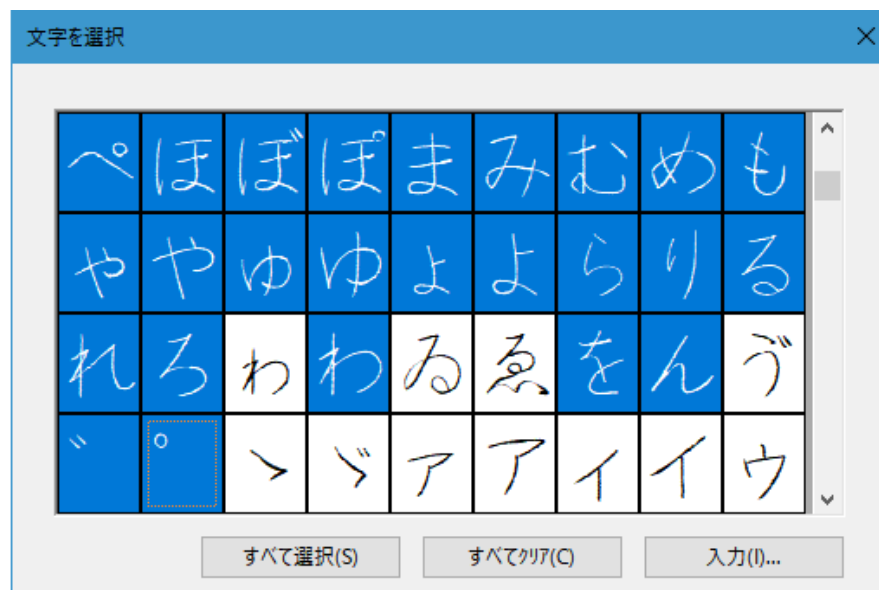
チルダ(半角"~")を使った色換え

テキストツールでは、"~"文字を挿入して、文字列の文字の色換えをすることができます。しかし状況によって、色換えの位置が間違っているケースが発生しました。問題を修正しました。

ツルータイプフォントから文字を出力

"文字を出力"はフォント管理の新しい機能です。このツールを使用すると、フォント内のすべての文字のユニコードの値をリストとして出力できます。これらのユニコード値は、***.FCS** 拡張子を持つ新しいファイルとして保存されます。保存した***.FCS** ファイルは、フォント管理を使用して新しいフォントを作成する工程で入力することができます。***.FCS** ファイルを新しいフォントに入力すると、前のステップで出力したフォントと同じ文字が選択されます。

新しいフォントで出力された文字***.FCS** ファイルを使用するには：[フォント管理]タブで、"フォントに文字を追加"-"ツルータイプフォントから文字を追加"を選択します。[文字を選択]ステップで、[入力]ボタンをクリックします。***.FCS** ファイルの場所を参照して開きます。[文字



の選択]ダイアログのプレビューウィンドウで、元のフォントのすべての文字が選択されていることがわかります（現在のフォントに存在する場合）。

追加フォント

新しいフォント

次のフォントが標準フォントとして追加されました。

- **Block 2 Comp Light**、**Casual New**、**Condensed Serif New** フォント。

Block 2 Light
Casual New
Condensed Serif New

- オプションフォントとして、**Sweet Pea** が追加されました。

Sweet Pea

- **Evening News** と **Tail Script New** の更新版が追加されました。
- **Industrial Script New** が標準フォントになりました。

ファイルの種類

新しい*.TCF対応

TCF ファイルで、ブリッジレーザー機へのデザイン出力を対応しました。

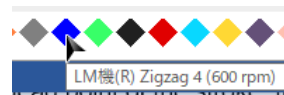
新しい刺繍機タイプ EDF フォーマット

EDF 刺繍ファイルタイプが拡張され、TCWM と TLMX 機用に出力することができます。タジマ TLMX と TCMX 機を使った本縫いシュニールのテープ付け、ジグザグ縫い、巻き縫い、ヒダ縫い、フリル縫い刺繍するセグメントを含んだデザインを作成することができます。

DG16 by Pulse のワークスペースに本縫いシュニール用の色パレットを表示するためには、まずマシンフォーマットでいずれかの EDF フォーマットを設定します。「ファイル」、「デザインのプロパティ」「マシンフォーマット」で、Tajima EDF – TCWM か Tajima EDF – TLMX. を選択します。選択すると、ワークスペースの通常の刺繍糸パレットの右に、次のパレットが表示されます。

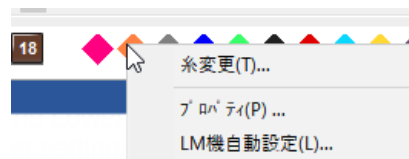


このチャートでは、それぞれのセグメントタイプ（ジグザグ、テープ付け、巻き縫いなど）別



に色分けし、ダイヤモンド形のボタンに割り付けられています。

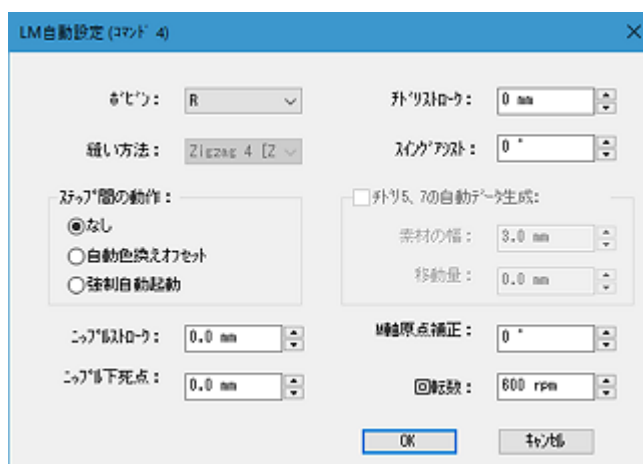
この本縫いシュニールパレットを右クリックすると下のメニューが表示されます。



"LM 機自動設定"を選択すると下の設定ダイアログが表示され、各種本縫いシュニール用の設定をすることができます。

ニップルストローク、チドリストローク、回転数など。

注：EDF 非対応の刺繍機に EDF デザインを送信した場合、EDF 機に非 EDF ファイルを送信し



た場合には、警告メッセージが表示されます。

アートワークツールと設定

背景イメージ選択－基準線による回転

背景イメージ選択ツールを使用して背景イメージを回転させる場合に問題がありました。基準線に対して背景を回転させたときに間違った角度になってしまう問題を修正しました。

イメージを開くダイアログ－PNGファイル

前のバージョンでは、[イメージを開く]ダイアログのドロップダウンリストの情報に漏れがありました。PNG は、ファイルの種類のリストに表示されませんでした（ただし、これらのタイプの画像は選択すると開きます）。ドロップダウンリストを修正され、PNG が含まれるようになりました。

糸チャートとパレット

搭載糸チャートの名前の変更

搭載されている糸チャートの一部 (*.tbd 拡張子を持つもの) は、元々任意の番号で名前が付けられていました。(例「thread_1.tbd」)これらのチャートは、識別しやすいように名前が変更されました。番号は、メーカーの元の糸チャート名の名前に置き換えました。「thread_1.tdb」は「Ackermann-Isacord 30.tdb」に、「thread_2.tdb」は「Ackermann-Isacord 40.tdb」と変更されました。

新しいMadeiraの糸チャート

2種類の新しい Madeira の糸チャートが追加されました。

40 -weight Madeira Polyester CR Metallic 40 (MADEIRA CR20 PM)

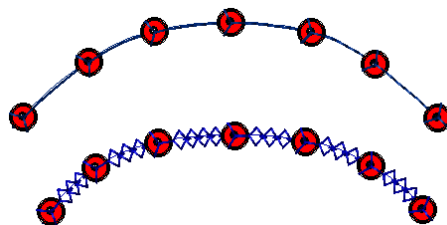
20-weight Madeira Polyester CR Metallic 20. (MADEIRA CR40 PM)

シークインツールと設定

新しいシークインツールの設定－ランスタイルの選択

[セグメント設定]ダイアログに、[ランスタイル]の設定を追加、シークインツールセグメントのシークインを接続するステッチのスタイルを変更できます。標準のシングルランステッチに加えて、ビーンステッチまたはプログラムランステッチをこのセグメントタイプに適用することもできます。

[シークイン設定]ダイアログの[一般]ページの[ランステッチスタイル]項目で、必要なランスタイルを選択します。「ビーン」スタイルを選択すると、接続するステッチのビーン繰返しの数を選択できます。また、「プログラム」が選択されている場合、パターン、パターン間隔、およびパターンサイズを選択することができます。



ビーン(上)とプログラムラン(下)を使ったシークインツールセグメント

シークインフィルの”糸切りとジャンプ”設定

シークインフィルのセグメント設定に、シークイン複合フィルセグメントの行間に糸切りを挿入できる新しい設定が追加されました。有効にすると、この設定はシークインフィルの各行の最後に糸切りを挿入し、ジャンプを追加して針を次の行の先頭に移動し、通常通り再び縫い始めます。

糸切りとジャンプのタイプ:



この設定を適用するには、シークインフィルセグメントを選択し、[セグメント設定]ダイアログで、[シークインフィル]–[一般]を選択します。[糸切りとジャンプのタイプ]で、次のいずれかを選択します。

- 糸切りもジャンプも**なし**(これが初期値)
- **シークインに接触するラン**に糸切りとジャンプ
- **すべてのラン**に糸切りとジャンプ
- **すべてのランと接続**に糸切りとジャンプ